

「夏休み児童生徒の作品」

～学習成果・体験活動発表～

校長 森 勝義

夏休み中に一時帰国した園児児童生徒や、現地校のサマーキャンプに参加した児童生徒、思い思いの夏を過ごしたようです。日本はお盆の最中、学校は夏休み後半突入です。本校は既に授業は軌道に乗っています。子どもたちの屈託のない笑顔、挨拶を受けると心が和みます。安心、安全に過ごせる、いじめのない学校を教職員一丸となって目指していきま

「ちょっと立ち止まって」を読んで

中学1年1組 吉原 結奏

『ちょっと立ち止まって』の筆者の考えは、私たちは一目見ての印象に縛られ、そのもの全てを知ったと思いがちだが、もし見方を変えてみると新しい発見や驚きを味わうことができるということである。

私はサッカーの試合で負けてしまい、試合後にとても悔しい気持ちでいっぱいだった。そこで私は深呼吸してみた。すると心のもやもやが和らぎ、次の試合で自分が何をしたら前の試合より良いプレーができるか、「負けたこと」を違った見方で考えることができた。

この体験から、筆者が主張したように見方を変える、すなわちマインドセットを変えると、もっと新しいことを味わうことができるということを再確認した。今後私は、うまくいかないことがあったとしても、物事の捉え方や自分の考えを見つめ直し、新たな発見ができるように努力したい。

「ちょっと立ち止まって」を読んで

中学1年2組 ガート 未来

私は、筆者が『ちょっと立ち止まって』で一番伝えたかったことは、「物事は見方によって見え方が違ってくる。」ということであると思う。

つい最近、キングスアイランドという遊園地に友達と遊びに行った。そこには、いろいろなジェットコースターがあり、とても楽しそうで、私は全部乗ってみたいと思った。だが、友達は私と正反対で怖がりながら、「絶対に乗らない。」といった。私が楽しそうだったことを、友達は怖いと感じていた。同じものを見ていたのに、思いや感じかたは正反対だった。

この経験を通して、自分の好きなことやものだからといって、他の人も同じように感じるとは限らない、ということに気づくことができた。これからは、他の人の気持ちにもっと寄りそっていきたいと思う。

「夏休みの出来事」

6年2組 市川 正希

この夏休みは家族ヨーロッパに行きました。最初にフランスのパリに行き、その後ベルギーのブリュッセルに行き、ロンドンに渡りました。ぼくはヨーロッパに行った事がなかったので、初めての体験でした。ヨーロッパの旅行は2週間だったので、色々な所に行ったり、さまざまな物を食べたりしました。その中で一番印象に残っているのは、パリのルーブル美術館に行って、有名なモナリザの絵を見たことです。ルーブル美術館は、エジプトのミイラやギリシャの大きな像なども展示されていました。ルーブル美術館は、入るときも人がたくさんいて、並びました。その中で一番人が集まっていたのは、モナリザです。暑い日にはアイスクリーをいっぱい食べました。今年の夏休みは、初めてのヨーロッパ旅行が出来てよかったです。

「夏休みの出来事」

6年2組 松島 想果

私はこの夏に日本に一時帰国しました。その時に友達と一緒にディズニーランドに行きました。「ファンタジースプリンセス」という新しいエリアが出来たディズニーシーは、混むと思ったので、私たちはディズニーランドに行くことにしました。とても楽しかったです。

私たちはジェットコースターが大好きなので、ジェットコースターにたくさん乗りました。「次は何に乗る？」など相談をして乗っていました。

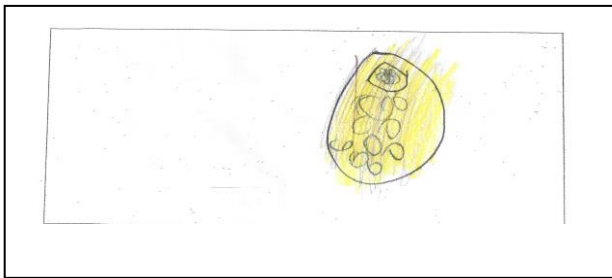
ディズニーランドはでは、とてもポップコーンのにおいがしていました。ディズニーランドのどこを歩いてもポップコーンの匂いがして、今すぐ食べたくなるほどでした。また友達と一緒に行きたいと思いました。

◎8月10日、<川柳・俳句・短歌作品を募集します>と子どもたちに呼びかけました。

たった1日でなんと29通の応募がありました。うれしい限りです。その中から今回は6点の作品を紹介します。

- 小学6年1組 飯田 逸士 「おーいお茶 みんなでのめば うまいお茶」
- 小学3年2組 松田 希子 「黄色の葉 秋がきたよ 赤い空」
- 小学6年2組 伊東 咲姫 「楽しみは 夜空満開夏の空 空にきれいな花火見た時」
- 小学3年2組 川端 岳 「ぼくのへや ちらかりまくり ごみだらけ」
- 小学3年1組 詠み人知らず 「あさごはん おいしすぎて たべちゃうね」
- 小学6年1組 羽田 康生 「サンゴ礁 色とりどりで 神秘的」

<投稿作品6選>



観察日記

小学2年2組 松本 空

わたしは、じゃがいもをかんさつしました。大きさは、6cmです。色は、ちゃ色と黄色です。形は、まるっぼいです。さわるとごつごつしています。においは、なんにもしませんでした。カレーにいれてたべました。じゃがいものあじは、おいしかったです。スーパーで、ママが買ってくれました。

人生がわかるのは

逆境にあるとき。

ココシャネル

1883年〜1971年 フランスデザイナー

人は、病気になってはじめて自分の身体を気にかける。人生も同じだ

音吐朗朗

おんと ろうろう

音声で豊かではつきりして、よく通る

様。「音吐」は発声、「朗朗」は声が澄んで

よく通ること。



ヒゲ森の言葉の森・探検